

施策評価シート(平成29年度実績)

基本構想	交通環境と防災対策の向上
重点的方針	災害や犯罪に備える地域づくり
概要	<p>町民が安心して住み続けられる町にするためには、災害時でも安全性を確保できるまちづくりが重要となります。</p> <p>大規模な震災をはじめ、台風による高波被害、ゲリラ豪雨による都市型水害等の災害に対応するため、町民と協力・連携した防災・減災まちづくりの推進を図るとともに、消防・救急活動体制の強化を図ります。</p> <p>また、地域による防犯体制の充実や交通安全対策等、安全・安心なまちづくりを推進し、全ての町民が危険や不安を感じる事のないような体制づくりに努めます。</p>

	実施計画事業名	事業数	事業費執行率(%)	総合評価(%)			
				A	B	C	D
(1)	消防・救急活動事業 (No.52)	10	79.3	90.0	10.0	0.0	0.0
(2)	交通安全推進事業 (No.53)	2	99.0	100.0	0.0	0.0	0.0
(3)	防犯対策強化事業 (No.54)	1	99.2	100.0	0.0	0.0	0.0
(4)	消費者対策事業 (No.55)	1	99.6	100.0	0.0	0.0	0.0
(5)	地域の安全力向上 (No.56)	1	-	100.0	0.0	0.0	0.0
(6)	耐震相談・診断事業 (No.57)	1	24.9	0.0	100.0	0.0	0.0
(7)	地域防災支援事業 (No.58)	2	97.7	50.0	50.0	0.0	0.0
(8)	防災・危機管理体制強化事業 (No.59)	6	42.5	83.3	16.7	0.0	0.0
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・防災、防犯、交通安全における地域及び関係機関との連携強化と活動格差の解消 ・防災、消防における関係機関との連携強化による危機管理体制の向上と設備の維持 ・災害における自助、共助、公助の役割の普及啓発及び訓練による防災力の向上 						

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業を改善し、より政策を進める必要がある D: 施策を見直す必要がある		A
	説明	防犯、交通安全、防災など地域や関係機関との連携が不可欠な事業においては、情報共有や相互支援の促進などが図られており、防災、消防などにおいても、国、県、近隣市町及び関係機関との合同訓練や連携調整により、危機管理体制の向上が図られている。防災施設の維持運営についても、情報提供の迅速化や効率的な運用が図られている。	

方向性							
<input checked="" type="checkbox"/>	① 現状維持	<input type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 要検討
意見等	全ての事業においては、継続的な事業展開が不可欠であり、新たな課題等への対応含め関係機関等とのさらなる連携強化を図るとともに、災害時における自助、共助の底上げとして、各地区の自主防災組織活動マニュアルの更新や防災指導員の育成支援などを促進する。						

◎最終評価者[庁内評価委員会]



① 現状維持



②改善して町が実施



③改善して町以外が実施



④要検討

意見等

交通環境と防災対策の向上を実現するためには、災害や犯罪に備える地域づくりは重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んだため、引き続き、取り組みを推進する。

今後、さらに推進するために、多様化する災害対応について、地域、行政及び関係団体が連携を強化し、迅速かつ柔軟に対応するとともに、地区の自主防災組織活動マニュアル等を地域とともに整備することで、防災意識の高揚を図り、地域防災力の向上につなげる。また、地域の防災活動を通じ、地域コミュニティのつながりを深め、災害時の自助・共助の強化だけでなく、防犯体制の充実にもつなげ、安全・安心して住み続けられるまちづくりを目指す。